

## 学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	治田 彩香
審 査 委 員		主 査 氏 名	天野正宏
		副 査 氏 名	中原桂子
		副 査 氏 名	高宮孝階
<p>[論文題名]</p> <p>Perampanel attenuates scratching behavior induced by acute or chronic pruritus in mice (英文題名)</p> <p><i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i>, 533(4): 1102-1108, 2020.  <a href="https://doi.org/10.1016/j.bbrc.2020.09.109">https://doi.org/10.1016/j.bbrc.2020.09.109</a></p> <p>急性および慢性の痒みに対するペランパネルの効果 (邦文題名)</p> <p>[要 旨]</p> <p>中枢神経系が関与している難治性痒みの発症メカニズムについて、特にグルタミン酸 AMPA/kainite (AMPA/KA) 受容体の関与に着目した研究である。</p> <p>ペランパネルは AMPA 受容体に対して高選択非競合的に結合し、受容体の活性を減弱することによってその効果を誘発する抗てんかん薬であり、臨床ではフィコンパ®として処方されている。本研究では急性の痒みモデル動物と慢性の痒みモデル動物を用いて実施され、急性の痒みに関して AMPA 受容体は非ヒスタミン系の痒みの情報処理に関与していることが示唆され、また慢性の痒みに対しペランパネルは抑制効果を示した。</p> <p>以上の結果は、中枢神経系が関与している難治性痒みの発症メカニズムを知る上で重要な知見であり、抗てんかん薬であるペランパネルが、ヒトの痒みを軽減する候補薬となる可能性など、今後の医療に資すると思われ、学位論文に値すると判断した。</p>			

## 最終試験結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	治田 彩香
審 査 委 員		主 査 氏 名	天野 正宏
		副 査 氏 名	中原 程子
		副 査 氏 名	高宮 孝悟
[要 旨] 学位審査論文の内容およびその関連領域について、口頭で試問した結果、学位を授与するに値する学力を有するものと認めた。			